

紙加工品製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	9~10	移動途中、被災者はロット終了板を載せ忘れたことに気付き、コンベア中央側に体の向きを変えようとし、ローラーコンベア上に足を踏み出してしまい、機械操作側に転倒し右手を床面につき、被災した。	26	100~299
1	10~11	会社の作業場で品物の落ち運び移動をしていたとき、足がパレットに引っ掛かり、手をつかず膝から床に転んでしまった。	42	30~49
2	12~13	工場内で不織布の折加工のケース詰めを担当していたので昼休みに段ケースを貼って準備していたところ、次の段ケースを取ろうとした際に貼っておいた段ケースに躓き腰を打ちそうになった為手をついた。痛みを我慢して、終業まで勤務し、帰りに病院へ行き骨折と診断された。	53	30~49
4	16~17	当社工場内で作業中、ダンボール（3kg程度）を持って運んでいた時につまずいて転び、右足の踝を負傷した。	52	10~29
6	8~9	当社工場内において、作業の事前準備のためパレットを重ねる作業中、パレットを重ねようとパレットの角に足をのせた時、バランスを崩して踏み外し、右足を挫いたものである。	53	50~99
7	19~20	被災者（技術社員・試用期間中）が残業中、チューバー機の糊洗いに行く際、通路の配線覆いにつまずき転倒。左膝を強打したことにより、左大腿骨顆部を骨折、左膝内側半月板を断裂および右手関節を捻挫した。	34	30~49
		昼休憩後の午後からの作業をするために、自分の配置場所に向かおうとしていたと		10

7	12~13	ころ、工場内原紙搬入口に原紙を積んだ状態のパレットの角に足が引っ掛かってしまい転倒、左ひざ部分を骨折したものの。	62	~ 29
7	17~18	工場内の機械設備（118B）横の通路に一時的に台車等を置いたままの状態になっていたため、十分なスペースが確保されていなかった。従って、この隙間を通り抜ける際に右足が何かに引っかかり、バランスを崩して左側面から倒れ、腰付近を強打した。その後、痛みが和らいできたのでしばらく様子を見ていたが、骨折が判明し、即会社へ報告した。通常、台車は指定された場所に置いてあるが、当日は中間決算棚卸の在庫確認のため、一時的に上記記載の通路に移動させていた故に通路に必要なスペースが確保されていなかった。	42	~ 49
9	15~ 16	派遣社員は、当社B棟プレス棟の投入口において碑も切の済んだ新聞をドライワイパー（床用水切り）を使用してコンベアに入れる作業を行っていた。作業中、足元の紙で滑って左足をひねり、しりもちをつき転倒した。後日、骨折が判明し、手術を受ける。	66	~ 49
9	19~ 20	製造機械に併設された、全高60cm、3段の金属性階段を上り、機械上部に置かれた金型メンテナンスに必要な工具を取りにいき、別の作業員へ工具を渡した後、階段から下りる際に左足を踏み外し、落下・転倒。その際に階段の角部分に自身の体重を乗せた状態で右足が接触、右足脛骨、腓骨を骨折した。	45	~ 299
10	9~ 10	工場から出来あがってきた段ボールケースがパレットに積まれて流れて来る場所で、フォークリフト担当者が出荷に必要な製品を取ろうと、ローラー上のパレットを手で押していた時、足元のストッパーに気が付かず、両足がストッパーに引っ掛かり前のめりになり、床に両手をついて転倒してしまった。	51	~ 99
10	16~ 17	1日の仕事が終了し作業場の掃除をしていた時に立ち眩みを起こして作業場の床に設置してあるダンボール運搬用の大型ローラーコンベアのローラーの上に足を着いてしまい体を支え切れずに転倒した。当日そのまま帰宅したが夜になって腫れがひどくなった。左膝外側側副靭帯損傷の診断を受けた。	44	~ 99

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html